

防災スペシャリスト養成eラーニング これまでの取組みと今後の計画

■ これまでの防災SP養成eラーニングについて

防災SP養成eラーニングの位置づけ（令和元年度 第4回企画検討会）

被災経験が無いまたは少ない市町村のうち、特に人口10万人未満規模かつ有明の丘研修・地域研修を受講できない市町村に対して、繰り返し生じ、かつ、市町村が中心となって対応すべき災害対応業務について、効果的な業務実施を可能にする機会として本eラーニングを位置付ける。

当面の公開用eラーニングが学習の対象とする業務（令和元年度 第4回企画検討会）

- 災害対応を行う上で、不足する資源を補うために必要な資源を確保するための業務
受援体制
- 災害対応上の課題が多く挙げられている個別の6業務
避難勧告等の判断・伝達 / 避難所運営 / 災害廃棄物処理
住家被害認定調査・罹災証明書交付 / ボランティアの受入 / 要配慮者への支援

令和2年度の試行の対象テーマ（令和元年度 第5回企画検討会）

避難所開設・運営 / 住家被害認定調査・罹災証明書交付

- <選定理由>
- ・災害時に特有の業務(普段の行政事務には存在しない業務)であること。
 - ・災害対策本部の複数の部・班が関わり連携して行う業務であること。
 - ・災害発生直後から継続して大量の人的資源が必要であり応援無しには対応できない業務で、かつ多くの人員のスキル向上が必要な業務であること。

令和2年度の防災SP養成eラーニングの取組み

- 防災SP養成eラーニングの試行に向けたコンテンツ作成を通じて、コンテンツ作成方法を標準化した。
- 避難所開設・運営業務、住家被害認定調査・罹災証明書交付業務の2テーマについて試行を実施し、試行結果を踏まえて改善事項を整理するとともに、今後の整備計画を検討した。

■ 防災SP養成eラーニングの目的

災害時に活動する応援職員等が、現地で従事する業務について標準化された業務手順(Standard Operating Procedure)を短時間で学ぶことにより、地方公共団体の災害対応力の向上を図る。

■ 対象テーマ

防災基本計画を踏まえ、災害時に多くの応援職員等が即戦力として活躍することが期待される下記の業務を当面のテーマとする。

- ・ 避難所開設・運営 ※
- ・ 住家被害認定調査・罹災証明書発行 ※
- ・ 警報避難
- ・ 要配慮者への支援
- ・ 防疫・保健・遺体処理
- ・ 災害廃棄物処理

※ 令和2年度の試行の対象

■ 令和3年度の実施

- ・ 試行した2テーマを秋頃に公開する。
- ・ 公開に向け、運用等の要件の検討を行い、要件を満たすシステムの選定・構築を行う。
- ・ 公開後は、受講者からのフィードバックも得ながら改善事項を整理するとともに、能力評価・改善の仕組みを検討する。
- ・ 公開する2テーマ以外のコンテンツも作成を進め、出来たものから随時公開する。

今後の防災スペシャリスト養成eラーニングの整備計画(イメージ図)

